

編集後記

ようやく発行にたどり着いたという気持ちである。大学の紀要というものの存在意義について、十分な共通認識を得られないのが現状である。それが発行遅延の一因である。大学が教育研究機関であることはいうまでもないが、研究の専門性が高まるにつれ、専門の異なる教員が集まる学部では、紀要に対する位置づけも当然最優先のものではなくなる。

このような中で紀要にどのような新しい役割を見いだしていくのか。多くの新しい試みが行われるべきであろう。微力を尽くしたい。

最後に、編集に意を尽くしていただいた研究支援課の皆さんに感謝を申し上げる次第である。
(Y生)

執筆者紹介(掲載順)

門 間 敬 子	京都文教大学人間学部・現代社会学科・准教授
樫 博 行	京都文教大学人間学部・現代社会学科・教授
小 林 康 正	京都文教大学人間学部・文化人類学科・教授

2010年度編集委員会

*小 林 康 正 Elizabeth A. King

平 塚 力 小 林 大 祐

*編集委員長

京都文教大学 人間学部研究報告 第十三集

平成24年3月21日 印刷

平成24年3月31日 発行

発行 京 都 文 教 大 学
京都府宇治市榎島町千足80
〒611-0041 電話 (0774)25-2400

印刷 (株) 同 朋 舎
京都市下京区中堂寺鍵田町2
〒600-8805 電話 (075)361-9121